

# マーケットメイク制度v2.0の見直し

- 2021年4月からマーケットメイク制度Ver.2.0を一部見直し
- 外国株・外国債券の対象拡大を予定
- TOPIX・日経225・REIT Core・Markit iBoxx 米ドル建て リキッド投資適格指数・ブルームバーグ・バークレイズ米国投資適格社債（1-10年）インデックスを対象外とする予定

## 外国株・外国債券の対象拡大

NASDAQ100/ ダウ・ジョーンズ工業株/ 米国債1-5年・10年超	(条件設定なし)	(条件新設)
--	----------	--------

## 対象除外指数

TOPIX/ 日経225	気配提示義務：10億円／20bps インセンティブ：月額50万円	(条件設定なし)
REIT Core指数	気配提示義務：5000万円／30bps インセンティブ：月額10万円	(条件設定なし)
Markit iBoxx 米ドル建て リキッド投資適格指数/ブルームバ グ・バークレイズ米国投資適格社債 (1-10年) インデックス	気配提示義務：1億円／40bps インセンティブ：月額20万円	(条件設定なし)

# マーケットメイク制度v2.0の見直し

- NASDAQ100、ダウ・ジョーンズ工業株、米国債1-5年・10年超を追加
- S&P500は1銘柄追加

対象指数	オブリゲーション (提示金額/スプレッド) ※1	インセンティブ (運用会社分と東証分の合計)		最大銘柄数
東証REIT指数	5,000万円 / 30 bps	上位2社	月額 10万円/社	3銘柄
S&P500	1億円 / 20 bps	上位2社	月額 20万円/社	5銘柄
NASDAQ100	1億円 / 30 bps	上位2社	月額 40万円/社	3銘柄
ダウ・ジョーンズ工業株	1億円 / 30 bps	上位2社	月額 40万円/社	2銘柄
MSCI Kokusai	1億円 / 20 bps	上位2社	月額 20万円/社	4銘柄
MSCI Emerging	1億円 / 40 bps	上位2社	月額 30万円/社	3銘柄
MSCI ACWI	1億円 / 40 bps	上位2社	月額 30万円/社	2銘柄
米国債5-10年	5億円 / 20 bps	上位2社	月額 50万円/社	2銘柄
米国債1-5年	1億円 / 15 bps	上位2社	月額 20万円/社	2銘柄
米国債10年超	1億円 / 25 bps	上位2社	月額 20万円/社	2銘柄
FTSE世界国債(WGBI)	1億円 / 40 bps	上位2社	月額 30万円/社	2銘柄

※1 オブリゲーション (スプレッド) は、所定のスプレッド or 2ticks のいずれか広い方

- 既に選定されている銘柄は、運用会社からの申請に基づき延長とし、空き枠が出た場合は別途選定する。

## 申請と選定に当たってのプロセス

① 各運用会社は、3月4日(木)までに、「マッチング銘柄申請シート」によって申請



② 東証は希望順位が高い順に利用銘柄を割り当てし、3月5日(金)までに運用会社に連絡  
※最大銘柄数より多くの申請があった場合は、AUMが大きい銘柄を割り当て



③ 運用会社は割り当てを受けた銘柄について、3月11日(木)までにスポンサード利用申請(AT-4)を行う→4月から開始

※運用会社は申請にあたり、スポンサー利用契約を締結している必要がある。  
※空枠については先着順。

# その他の変更点（ファストマーケット制度の導入）

## ● 高ボラティリティ時に市場環境を鑑みて、オブリゲーションを一定期間緩和する。

項目	内容	備考
発動トリガー	マーケットメイカーや運用会社など市場関係者からの要請や市場環境を鑑みて総合的に判断	<ul style="list-style-type: none"><li>原則として「日経VIが30以上となった場合もしくは過半数のマーケットメイカーからリクエストがあった場合」</li><li>ただし、市場環境や市場関係者からのリクエスト等を踏まえて東証が総合的に判断する。</li></ul>
オブリゲーション緩和内容	2段階の緩和とする。 ①スプレッドを通常時の2倍に拡大 ②スプレッドを通常時の4倍に拡大	<ul style="list-style-type: none"><li>基本的には①の緩和とするが、高ボラティリティ状態が長期間続く場合、総合的な判断で②の緩和を実施する。</li><li>②の緩和は日経VIが50以上など極端にボラティリティが高い場合を想定。</li></ul>
期間	発動当日から解除日まで	<ul style="list-style-type: none"><li>ファストマーケットの発動はイントラデイとする。日中に発動を宣言し、発動当日からオブリゲーションを緩和する。</li><li>解除前日の大引けに解除を宣言する。</li></ul>
解除トリガー	マーケットメイカーや運用会社など市場関係者からの要請や市場環境を鑑みて、東証が総合的に判断	<ul style="list-style-type: none"><li>原則として「日経VIが30を下回る日が5日続いた場合」</li><li>ただし、解除トリガーも発動トリガーと同様市場環境や市場関係者からのリクエスト等を踏まえて東証が総合的に判断をする。</li></ul>
パフォーマンスの計測	平常時同様、月間で計測する	<ul style="list-style-type: none"><li>ファストマーケットは日次で発動・解除するが、パフォーマンスの計測は通常時と同様に月間のパフォーマンス80%を基準とする。</li></ul>
対象銘柄	全銘柄	<ul style="list-style-type: none"><li>マーケットメイク制度の対象銘柄すべてを対象とする。</li></ul>
対象範囲	東証設定分、Version2.0分を対象とする	<ul style="list-style-type: none"><li>スポンサード設定分はすべて対象外とする。</li></ul>